

SHIBUYA AREA MANAGEMENT ACTIVITY REPORT 2013-2024

渋谷駅前エリアマネジメント活動レポート 2013-2024

遊び心で、渋谷を動かせ。

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN
SHIBUYA PROJECT

提供/東急株式会社・東急不動産株式会社

どう、変える？ 渋谷。

ビジョン

渋谷が世界一だと思ふ人をふやす。

渋谷を愛してくれている人に、これからも愛してもらえるように。

渋谷に興味がない人も、渋谷を好きになってもらえるように。

渋谷は、年齢や職業などに関係なく、好奇心や創造性をもった人が集まるまちでありたいと思います。

訪れる人、住む人、商売を営む人。一人でも多くの人に、ここが世界一の場所だと思ってもらえる渋谷を目指します。

まちのイベントに
飛び込み参加してみたい！

自分の演奏を聞いてもらえる場所が
あったらいいのに…

工事中の建物に
大型広告を出せたらいいのに

渋谷のおすすめの観光スポット、
どこかで教えてもらえないかな？

空いてる駐車場が
見つからない！

ごみや落書きが多くて
治安が悪そう…

仮囲いを使って自分のアート作品を
みんなに見てほしい！

工事が多くて、来るたびに
動線が変わってる

待ち合わせ中にフリーWiFiが使いたいなあ

環境にやさしいまちになってほしいな

子供達だけで遊びに行っても大丈夫かしら？

INDEX

P4	コンセプト	P10	これまでの活動【まちづくりに関するルールづくり】
P6	SHIBUYA +FUN PROJECT	P13	これまでの活動【まちづくり活動の実行・運用】
P7	活動エリア	P16	活動年表（フェーズ0/1/2）
P8	活動内容	P18	活動年表（フェーズ3）
P9	まちづくりの仕組み		

コンセプト

+FUN

遊び心で、 渋谷を動かせ。

これから先、変化し続ける渋谷駅前。私たちは、この変化をチャンスだと考えます。

渋谷の入口で象徴でもある駅前エリアの、渋谷らしさを守りながら、

新しい魅力をつくっていく。このまちに関わる好奇心や独創性につながりながら、

渋谷の変化を魅力に変えていきます。

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

+FUN

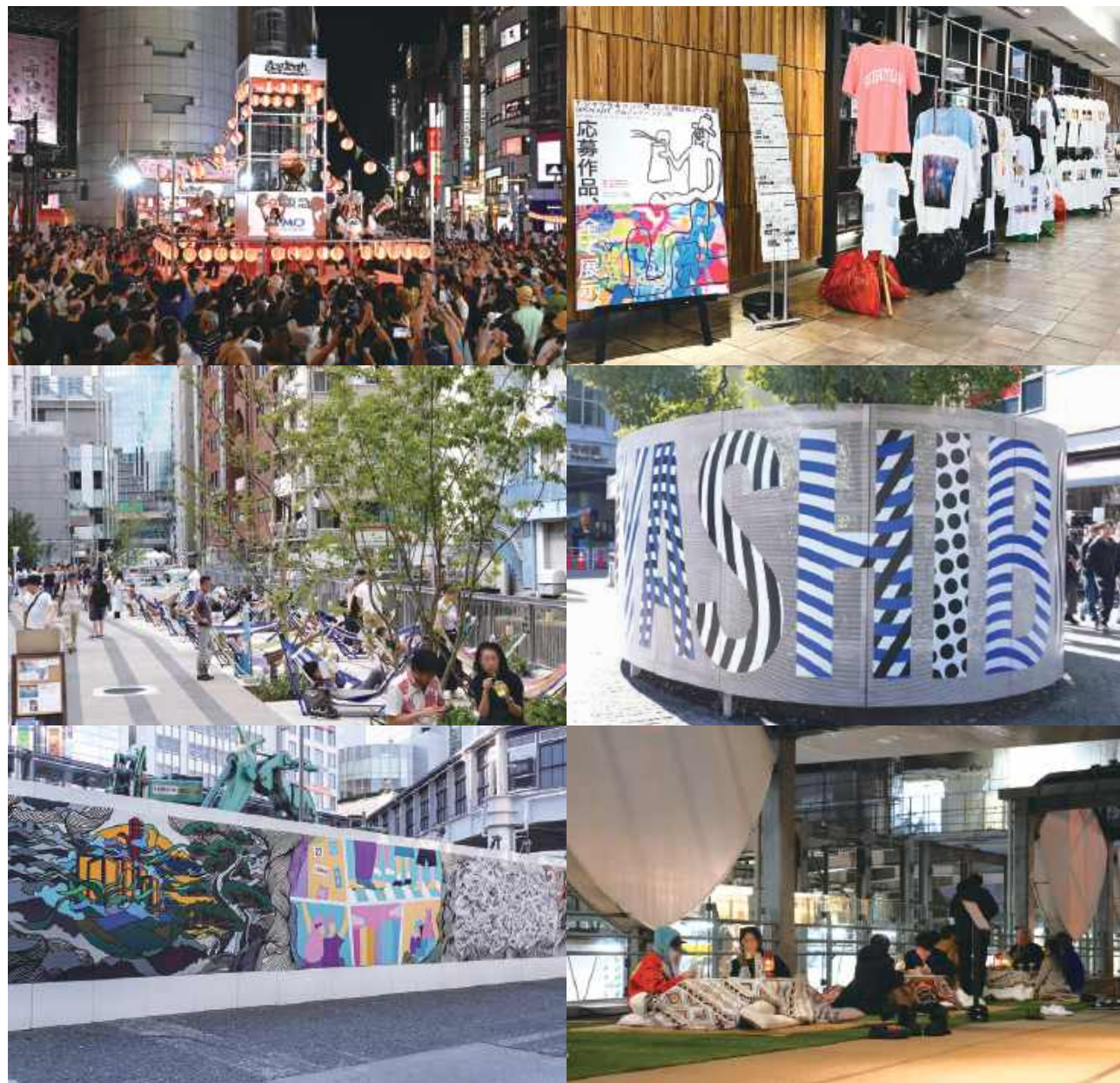
プロジェクト名



SHIBUYA +FUN PROJECT

シブヤ プラスファン プロジェクト

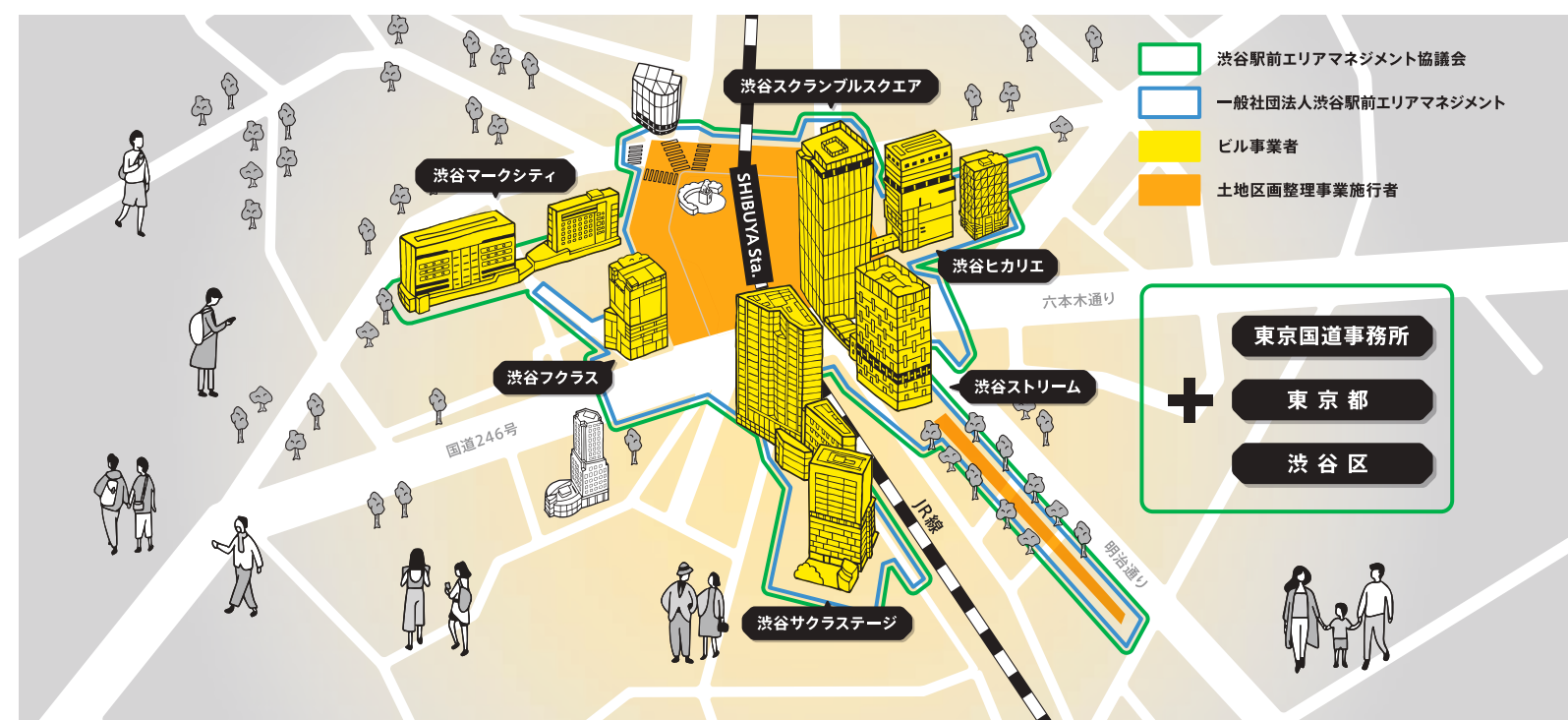
自由でクリエイティビティな動きを生み出し続けてきたまち、渋谷。
ここに集う人々と力を合わせ、もっとたくさんの遊び心をプラスし、
さまざまなアクションで一緒にまちを盛り上げていき、使いやすくしていくこと。
それが、「SHIBUYA +FUN PROJECT」です。



活動エリア

渋谷の玄関口を どこまでおもしろくできるか。

渋谷駅前エリアマネジメントは、渋谷駅前の街区と隣接する公共空間で、
まちをもっと楽しく、安全・安心に過ごせるようにしていくための取り組みを行っています。



渋谷マークシティ
京王井の頭線に直結し、利便性の高いショッピングモール・ホテル・オフィスからなる複合施設

開業 2000年4月
事業主体 東京地下鉄(株)、東急(株)、京王電鉄(株)



渋谷ヒカリエ
国内最大級の劇場、イベントホールやクリエイティブスペースなど渋谷を代表する情報発信拠点を備えた複合施設

開業 2012年4月
事業主体 渋谷新文化街区プロジェクト推進協議会



渋谷ストリーム
旧東横線渋谷駅の記憶を残す、クリエイティブワーカーのためのオフィス、ホテル、商業からなる複合施設

開業 2018年9月
事業主体 東急(株)、東横線隣接街区の地権者



渋谷スクランブルスクエア
渋谷最高峰の展望施設、オフィス、共創施設、商業を備えた渋谷のランドマークとなる複合施設

開業 第1期(東棟)2019年11月 第2期(中央棟・西棟)2027年度(予定)
事業主体 東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)



渋谷フクラス
空港リムジンバスの発着場や観光支援施設を備えた渋谷の玄関口となる複合施設

開業 2019年11月
事業主体 道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合



渋谷サクラステージ
住・働・遊を兼ね備えた国際都市「渋谷」を代表する複合施設

全面開業 2024年7月
事業主体 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合

活動内容

もっと使いやすく、
もっと盛り上がる渋谷へ。

ビル事業者、土地区画整理事業施行者からなる一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントと、
国、東京都や渋谷区との調整の場である渋谷駅前エリアマネジメント協議会が力を合わせ、
12の活動項目を中心に、より快適で安全・安心な場所にするための活動に取り組んでいます。

12の活動内容

1 屋外広告物地域ルール

2 デザイン・基盤調整

3 駐車場運用

4 施設の管理

5 防災・防犯

6 AEMS・環境対策

渋谷駅前エリアマネジメント協議会

設立
2013年5月30日

まちづくりに関するルールづくり
官民の調整担当

構成メンバー

【正会員】 ●渋谷駅街区エリアマネジメント協議会
(東急株式会社／東日本旅客鉄道株式会社／
東京地下鉄株式会社／渋谷スクランブルスクエア株式会社)
●渋谷ストリーム管理組合 ●渋谷フクラス管理組合
●渋谷サクラスステージ管理組合 ●渋谷ヒカリエ管理組合

【準会員】 ●渋谷マークシティ

【特別会員】 ●渋谷駅街区土地区画整理事業施行者
(東急株式会社／独立行政法人都市再生機構)

【行政会員】 ●国土交通省東京国道事務所
●東京都建設局道路管理部路政課 ●東京都第二建設事務所
●渋谷区土木部 ●渋谷区まちづくり推進部

7 街区共同イベント

8 広場の利用

9 工事中の魅力付け

10 情報発信

11 観光

12 事業計画策定

一般社団法人
渋谷駅前エリアマネジメント

設立
2015年8月18日

協議会で設定したルールに基づいて
まちづくり活動を実行

構成メンバー

【社員】 ●渋谷駅街区エリアマネジメント協議会
(東急株式会社／東日本旅客鉄道株式会社／
東京地下鉄株式会社／渋谷スクランブルスクエア株式会社)
●渋谷ストリーム管理組合 ●渋谷フクラス管理組合
●渋谷サクラスステージ管理組合 ●渋谷ヒカリエ管理組合
●渋谷駅街区土地区画整理事業施行者
(東急株式会社／独立行政法人都市再生機構)

【事務局】 ●東急株式会社 ●東急不動産株式会社
●独立行政法人都市再生機構

まちづくりの仕組み

みんなでつくる、
サステナブルなまちづくり。

道路や広告などの公共空間を活用し、広告掲出による収益の確保や、

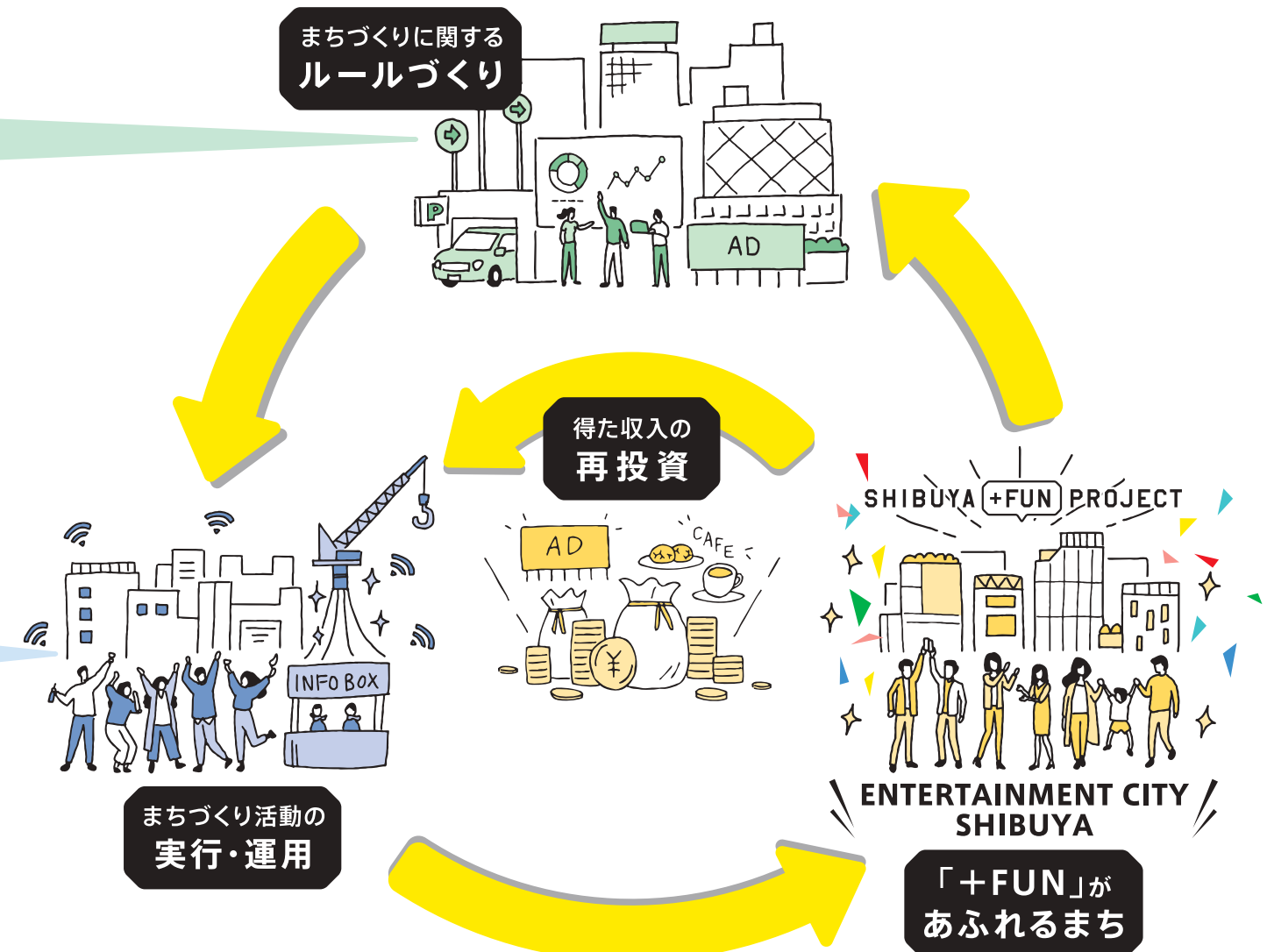
賑わいを生み出す場としてのルール作りを行い、実行・運用しています。

そこで得られた収益はまちに還元され、さらにまちを盛り上げたり、使いやすくしていきます。

まちが賑わうことで増えた収益を、またまちに還元していく。

サステナブルな仕組みで、渋谷をもっと+FUNなまちにしていきます。

サステナブルなまちづくりの仕組み



渋谷の顔にふさわしい、 世界を驚かせる景色をつくる。

1 屋外広告物地域ルール

これまでの渋谷らしさを大切に、
かつてない渋谷らしさへ。

独自の屋外広告物地域ルールを策定し、これまでの渋谷の景観を生かしながら、新しいまちの景観づくりに取り組んでいます。収益をまちに還元することを条件に、今までは実現が難しかった広場や道路での広告掲出、高層ビルの壁面への超大型サイネージの設置などが可能になりました。

実現が難しかった広場・道路での
広告掲出を可能に！



広告媒体に関する詳細は
こちらをご確認ください



渋谷憲章シート



渋谷スクランブルスクエアビジョン



UPLIGHT COFFEE カフェプロモーション



渋谷駅東口地下広場B7出口階段下壁面



国道246号横断デッキ(ストリームデッキ)



道玄坂連絡デッキおよび仮設デッキ(フクラスデッキ)

誰もが歩きやすいまちで あらゆる人を歓迎したい。

2 デザイン・基盤調整

バラバラでわかりにくかった
サインの基準を統一！

初めてでも、自分のまちのように。

複数の事業者が関わる渋谷駅周辺エリアは、各事業者で異なる案内誘導サインを掲出していたため、来街者にとってわかりにくい案内となっていました。渋谷区とともに初めて訪れる人にもわかりやすい案内誘導を目指し、各事業者を一つにまとめるため、サインガイドラインを策定しています。

ターミナルと街の結節点となる空間、
「結節広場」のシンボルマークを決める公募を実施。



ハチ公広場



西口広場



稲荷橋広場



桜丘広場



渋谷駅地下出入口番号の変更

地下をA～Dの4エリアに分け、各出入口の数字を組み合わせで表記。



案内誘導サイン

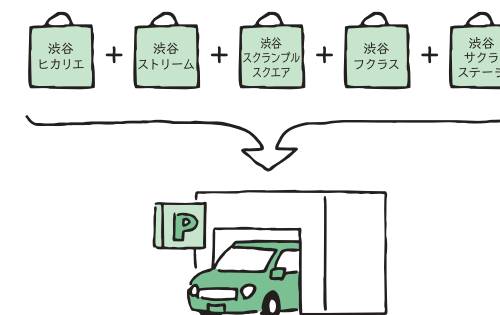
11施設導入済み。(2025年2月時点)

3 駐車場運用

駅中心地区の車を減らし、
歩きやすいまちに！

つくるのは、人とクルマの幸せな関係。

多くの自動車が行き交うことにより、歩行者が歩きづらくなっていた渋谷駅前。各事業者が協力し、自動車の流入を減らすために入庫ルートを整備しました。また、各施設でのお買い上げ金額を合算し、その合算金額に応じた駐車場サービスがご利用可能です。



渋谷がもっと好きになる、 キレイで安心なまちづくり。

4 施設の管理

持続可能な
公共空間の在り方を考えています！

官民が二人三脚で進める、
未来を見据えた道路の美化・管理の検討。

検討の代表例

- 2017年度 渋谷駅周辺のごみや汚れの実態調査
- 2018年度 渋谷駅周辺の歩道での清掃実験(2021年度まで数か所実施)
- 2023年度 国土交通省関東地方整備局より道路協力団体に指定
- 2024年度 国道、渋谷区道を中心に清掃実施等の協力開始

東口広場等、今後供用開始になる公共空間も含めたエリア全体の維持
管理方法を引き続き検討しています。

アーティスト公募プラットフォーム「TYPELESS」

アーティストが挑戦できる環境をつくること、再開発中から公共空間を豊かにすること、「人の心を楽しませ、人が歩きたくなる街」の実現を目指し、2023年度より始動。駅前における落書き問題の解決も兼ねて、第1弾はハチ公広場と渋谷マークシティを繋ぐ横断歩道エリアの橋脚を、第2弾はハチ公広場の階段上屋壁面を対象とし、公募および掲出を実施しました。



©Ryota Hashimoto

5 防災・防犯

渋谷のまちの安全・安心の
向上を目指す！

「もしも」の場合に備えた、
安全・安心の体制づくり。

活動エリア内の商業施設や管理会社、警備会社などとエリア内での有事発生時における警察、消防との連携、および被害拡大防止に向けた体制構築を目的に、「渋谷駅前エリアセキュリティに関する協定」を2023年3月に締結しました。

渋谷警察署合同防犯訓練

渋谷駅周辺の安全・安心の為、2023年度より渋谷警察署と周辺施設の警備員や防災センターと連携し、不審者出現を想定した訓練を毎年実施しています。



6 AEMS・環境対策

まち全体でエネルギー効率を高め、
環境負荷を軽減！

渋谷を冷やす。地球にやさしい環境をつくる。

谷に位置する渋谷駅前は熱だまりが起りやすい上、大規模開発に伴う環境負荷の増大が課題でした。そこで、エネルギー効率の向上を目指し、各街区が連携してAEMS(エリアエネルギー管理システム)の実運用に向けた検討を行っています。

SWITCHとの取組

2024年に渋谷ヒカリエ11階、SHIBU HACHI BOX、東口地下広場サイネージにて環境啓蒙動画を放映しました。また、東口地下広場にて廃棄された漁網を再利用したアートの展示を行いました。



たくさんの個性を集めて、 新たなまちの魅力を発信。

7 街区共同イベント

渋谷駅前エリアマネジメントが協力し、
オール渋谷で取り組む！

みんなが創り、みんなが参加し、みんなで盛り上げる。

各街区の特徴を活かしながら、渋谷の魅力を向上させ、新たな渋谷を世界に発信し続けるために、地元、行政、事業者、大学、来街者など、渋谷に関わるみんなで、まち全体を盛り上げていきます。

渋谷盆踊り

毎年8月にSHIBUYA109前に櫓を建てて実施される「渋谷盆踊り」に協力。2024年は「まちびらき2024」ロゴ掲載の提灯でまちを彩りました。



SHIBUYA WINTER ILLUMINATION

渋谷駅周辺の商店街、地元団体や商業施設等が各々主体となり、まち全体で連携しながら様々な演出を実施。2024年はハチ公広場と渋谷サクラステージで点灯式を実施し、渋谷のまちに光を灯しました。



長い工事期間中に節目をつくり、
渋谷の一体感を育む！

新たな渋谷を発信し、まちぐるみで盛り上げる「まちびらき」。

新たな公共的な施設の整備や大規模建築物のオープンといった節目に合わせ、区民、事業者、教育機関、区が協働で盛り上げる取り組みです。I、II、III期と実施し、今後も段階的・連続的な実施を予定しています。

まちびらきロゴ
様々な商店会や団体が
参加するまちびらき。

渋谷の道路のように、つながりながら
全方位に広がっていく様子を「渋谷」の
タイポグラフィで表現。

I期まちびらき
2018年9月

渋谷ストリーム &
渋谷川の盛り上げ



II期まちびらき
2019年11月-12月

HELLO
neo
SHIBUYA
南側 & 東側 & 公園通り
など「まちぐるみ」の
取り組みへ



III期まちびらき
2023年11月-2024年8月

SHIBUYA
OPEN CITY
桜丘エリア &
渋谷駅南側エリアの
盛り上げ



広場の賑わいを増やすことは、 まちにワクワクを増やすこと。

8 広場の利用

制度を活用し、地下空間に賑わいを生み出す！

駅とまちを楽しさでつなぐ、地下空間。

渋谷駅周辺には、人が集い、憩える空間が不足していました。そこで2019年、渋谷川が頭上に流れる巨大な地下空間に、渋谷駅東口地下広場が誕生。都市再生推進法人の制度を活用し、道路路上にカフェや広告を設置することで、まちに賑わいを生み出します。また、行政の協力を得て、パウダールーム付きの渋谷区立渋谷駅東口公衆便所や、都営バス定期券発券所とバス案内所も備えました。この広場で得た収益はまちづくり活動と広場の維持管理に充てられます。



OPEN LIVE

2019年まちびらきⅡ期に渋谷中央街で実施したストリートライブ。2024年まちびらきⅢ期から「OPEN LIVE」として、東口地下広場を含む渋谷のまちで定期的を実施しています。



エリマネ設立10周年記念イベント

2023年5月、渋谷駅前エリマネメント協議会設立10周年を記念して、渋谷駅東口地下広場にてトークセッションやアイデアミーティングを実施しました。



Shibuya Street Piano

どなたでも気軽に演奏できるストリートピアノを設置し、ピアノの音色でまちを彩るイベントを実施しました。

工事中からエンタテイメントを。

9 工事中の魅力付け

再開発に伴う様々な変化を、まちの賑わいに！

完成する前から親しみ、楽しめる場所に。

渋谷駅前再開発事業で、長い期間工事が続く渋谷。工事中の渋谷を明るく楽しいイメージに変化させていくため、まちの様々な場所を使って渋谷の魅力を発信するプロジェクトを仕掛けています。

東京都立大学と連携した仮囲いおよび渋谷スクランブルスクエアビジョンの活用

東京都立大学の菊竹教授および学生と連携し、仮囲いデザイン(2016年～2019年)、大型ビジョンの動画プロジェクト(2020年～2025年)を実施。



モヤイ像移設除幕セレモニー

再開発の進捗により、渋谷駅西口に設置されていたモヤイ像を渋谷フクラス西側広場に移設。モヤイ像移設除幕セレモニー開催に伴い、実施協力しました。



©渋谷区

めぐり歩くだけで 素敵な発見に出会えるまちへ。

10 情報発信

11 観光

ひと味違う
情報発信と観光案内を！

渋谷駅ハチ公広場観光案内所「SHIBU HACHI BOX」

渋谷駅ハチ公広場の「青ガエル」跡地に2020年から観光案内所を設置。協賛企業を募集し、協賛金により施設を運営しています。



つながるって、たのしいWi-Fi。

渋谷を訪れた人の利便性を高め、楽しく回遊できるように、渋谷駅(東横線、副都心線、田園都市線、半蔵門線)や商業施設など、まちの様々な場所で使えるフリーWi-Fi「SHIBUYA Wi-Fi-Fi」を提供しています。大規模災害時には登録不要でつながることが可能です。



しぶやをつくるゼミ

NPO法人シブヤ大学と協力し開催した、渋谷について考える市民参加型のまちづくり活動。2021年以降第3期まで実施し、渋谷に興味を持つ様々な人が自由に話し合いました。



渋谷駅周辺のワクワクをお届け！

SNSやHPを通して、渋谷のにぎわいを世界に発信しています。



レゴ®ブロックの渋谷の街

大規模再開発で変化する渋谷駅周辺の様子が300分の1のスケールで再現された模型が渋谷ヒカリエ11階に展示されています。



渋谷駅中心地区のまちづくりと渋谷駅前エリアマネジメントの歩み

渋谷駅中心地区 まちづくりの動き

2010年度以前

- 2005年12月
渋谷駅周辺地域(139ha)が、都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域の指定を受ける
- 2006年7月
渋谷駅周辺地域の整備に関する調整協議会発足
- 2007年9月
渋谷駅中心地区まちづくりガイドライン2007公表
- 2009年6月
渋谷駅街区土地区画整理事業の都市計画決定
- 2011年1月
渋谷駅中心地区デザイン会議発足
- 2011年3月
渋谷駅中心地区まちづくり指針2010公表

2011年度

- 5月
渋谷駅中心地区まちづくり調整会議発足
- 8月
渋谷駅中心地区大規模建築物等に係る特定区域景観形成指針認定
- 1月
特定都市再生緊急整備地域の指定

2012年度

- 4月
渋谷ヒカリエ開業
- 10月
渋谷駅中心地区基盤整備方針公表
- 3月
東急東横線の渋谷～代官山間が地下化、東京メトロ副都心線との相互直通運転を開始

2013年度

- 6月
同年1月に提案した都市計画の決定

2014年度

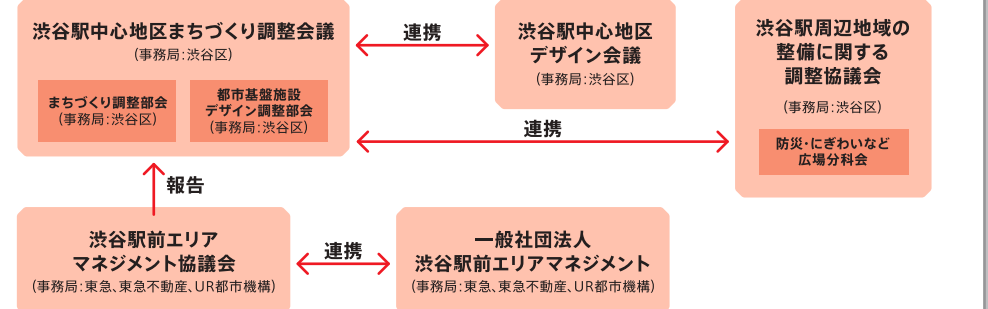
渋谷駅中心地区のまちづくり体制図

2015年度

- 10月
“かもづくり”フューチャーセッション開催
- 3月
渋谷駅周辺まちづくりビジョン公表

2016年度

2017年度



フェーズ0：上位方針の形成

フェーズ1：活動の基盤づくり

フェーズ2：社会実験の実施

渋谷駅中心地区まちづくり調整会議を中心に、まちづくり指針2010戦略7を担うエリアマネジメントの計画に関して官民で協議

- 1月
渋谷駅前エリアマネジメント準備会発足

- 5月
渋谷駅前エリアマネジメント協議会設立(5/30)
- 3月
「SHIBUYA +FUN PROJECT」始動

- 駐車場運用、防災・防犯、AEMS、環境対策、施設の管理、広場の利用、屋外広告物地域ルール、デザイン基盤調整等に関する検討を開始

- 渋谷駅前清掃活動に参加開始

- 公式ホームページ開設



- 渋谷ヒカリエデッキや工事仮囲いで賑わい装飾「SHIBUYA VIVID」を実施

- 屋外広告物地域ルール策定

- 「未来のしぶやはどうなる？」リーフレット発行
- 渋谷ヒカリエにインフォメーションコーナー「SHIBUYA FUTURE VISION」を設置し、渋谷駅周辺都市模型の展示開始
- 桑沢デザイン研究所の学生と工事仮囲い装飾「シブレンジャー」を実施
- 工事中のタワークレーンを活用したイルミネーション「SHIBUYA VIVID SNOW ILLUMINATION」を実施
- ワークショップコレクション親子工事現場見学ツアー「未来のシブヤ発見ツアー」を実施
- ARを活用した渋谷のまちの将来像の発信開始

- 道玄坂一丁目駅前地区仮囲い装飾「シブヤミライ人」を実施

- 渋谷川沿いにて、カフェ型情報発信施設「Shibuya info box Supported by ZOJIRUSHI My Bottle どこでもcafe」開設
- 工事業者と連携し、工事中の案内誘導サインを掲出開始
- 東京都立大学との共同研究として、工事仮囲いの装飾デザイン制作及び掲出開始
- 帰宅困難者対策協議会と連携した防災啓蒙活動実施(16年、17年)
- CSデザイン賞受賞作品の工事仮囲いへの掲出(16年、18年)

- 7月
全国エリアマネジメントネットワーク参画

- 渋谷駅前サインガイドライン策定委員会発足

- ハチ公広場、工事仮囲い等にエリアマネジメント広告を掲出し、収益をまちづくり活動(道路の清掃レベルアップや賑わい創出等)に充当する社会実験を開始
- まちの付加価値投資会議を開催し、官民で公共空間の活用案を検討(16年、17年)

- 「YOU MAKE SHIBUYA」年末カウントダウン実行委員会に参画開始
- 渋谷駅前エリアマネジメントコンセプトブック発行
- VRを活用した駅前将来計画紹介動画の制作
- シブヤ・アロープロジェクトへの協力

- 渋谷駅前サインガイドライン運営委員会発足

- ハチ公広場でのカメラを活用したゴミ多発地点の見える化実験
- 国道246東口地下歩道での清掃実験(17年、19年)
- 渋谷中央街での道路空間の実験的活用(17年、18年)

ルール作り

屋外広告物・公共空間活用

情報発信・コミュニケーションデザイン

渋谷駅中心地区のまちづくりと渋谷駅前エリアマネジメントの歩み

渋谷駅中心地区 まちづくりの動き

2018年度

- 9月
渋谷ストリーム開業
渋谷川の再整備
- 9月
I期まちびらき
「Shibuya River Fes」実施
- 11月
都市再生整備計画
渋谷駅周辺地区公表
- 3月
渋谷駅東口歩道橋供用開始

2019年度

- 11月～20年3月
II期まちびらき
「HELLO neo SHIBUYA」実施
- 11月
渋谷スクランブルスクエア
第I期(東棟)開業
渋谷駅東口地下広場供用開始
渋谷駅地下出入口番号の変更
- 11月
渋谷フクラス開業
- 1月
東京メトロ銀座線ホーム移設

2020年度

- 6月
JR埼京線・山手線ホーム並立化
- 7月
渋谷駅西口歩道橋供用開始
- 9月
しぶにしデッキ、
道玄坂連絡デッキ・
仮設デッキ(フクラスデッキ)
供用開始

2021年度

- 7月
ヒカリエデッキオープン

2022年度

2023年度

- 11月～24年8月
III期まちびらき
「SHIBUYA OPEN CITY
ひらけ、渋谷。」実施
- 11月
渋谷サクラステージ竣工
- 12月
「(仮称)渋谷駅南口北側自由通路」
暫定供用開始

2024年度

- 7月
渋谷アクシュ開業
- 7月
「渋谷駅 新南改札」移転
- 7月
渋谷サクラステージ本格開業

フェーズ3：施設の開業と渋谷の魅力づくり

- 5月 渋谷区初の都市再生
推進法人に指定
- 9月 全国エリアマネジメント
シンポジウム@Shibuya
- 10月 都市再生整備計画
渋谷駅周辺地区を
渋谷区に提案

- 6月 渋谷駅前エリア
マネジメント協議会に
渋谷マークシティ参画

- 2月 国土交通省関東地方整備局より
道路協力団体に指定

- 6月 「2023年度
日本都市計画学会学会賞
計画設計賞」を受賞

ルール作り

- デザインガイドラインに
沿ったサイン整備開始
- 帰宅困難者対応に関する
運用ルール策定
- 駐車場一体運用開始
- 公共サインガイドライン策定

- 渋谷駅前サインガイドライン
運営委員会発足
- AEMS(エリアエネルギー
管理システム)の一環として
大規模複合施設の
エネルギーデータ収集開始

- 渋谷駅結節広場案内サイン
シンボルマーク公表
- 「駅、まちをつなぐ」
“渋谷サイン”プロジェクトが
日本サインデザイン賞にて
大賞／経済産業大臣賞受賞

- 周辺9事業者と
渋谷駅前エリアセキュリティに
関する協定書を締結

屋外広告物・ 公共空間活用

- 「YOU MAKE SHIBUYA」
年末カウントダウンでの
プロジェクション
マッピング実験

- 東口地下広場清掃実験開始
- 落書き、ステッカー対策実験(19年、20年)
- 渋谷スクランブルスクエア
サイネージ実証実験(19年、20年)
- 東口地下広場にて
UPLIGHT COFFEE、
パウダールームを備えた
渋谷区立渋谷駅東口公衆便所、
コインロッカー、都営バス定期券
発売所の運用を開始

- 渋谷スクランブルスクエア
サイネージ本格運用開始

- 東口地下広場にて
初の音楽イベント
クリスマスイベント
「うたのカレンダー」を実施
- 東口地下広場にて
初のフードイベント
「ふるさとマルシェby
美味しい渋谷区」を実施

- 東口地下広場での浸水対策訓練、
テロ対策訓練への協力開始
- TOKYO CREATIVE SALON2023
との連携
(西口地下タクシープールの活用)
- 東口地下広場での
「Shibuya Street Piano
渋谷駅東口地下広場」開催

- なんみんフェス2023 in 渋谷への協力
- 渋谷ズンチャカ!への協力
- 渋谷駅前エリアマネジメント協議会
設立10周年記念イベント開催

- 「GREEN XROSSING SHIBUYA」
プロジェクト
- SHIBUYA OPEN LIVEへの協力
- 渋谷フクラス西側広場にて
モヤイ像移設除幕式典を実施
- 渋谷三すくら祭と連携した、
国道246号横断デッキ(ストリームデッキ)での
初のイベント実施

情報発信・ コミュニケーションデザイン

- 工事業者と連携し、
バーチャルインフォボックスを
ホームページに開設
- フリーWi-Fi
「SHIBUYA Wi-Wi-Fi」
サービス開始



- ワークショップ
「渋谷の街をレゴ®ブロックで
つくろう!」実施(18年、19年)
- 「SHIBUYA WINTER
ILLUMINATION」への
協力開始

- エリアマネジメント活動
(SHIBUYA +FUN PROJECT)
紹介動画公表



- 渋谷スクランブルスクエア
サイネージを活用した、
「Motion Plus Design
Shibuya Video Contest
2019」開催
- 「渋谷中央街Music Street」
に協力

- 渋谷駅ハチ公広場観光案内所
「SHIBU HACHI BOX」設置
- 渋谷区観光協会と連携し、
しぶにしデッキ壁面に
アート作品展示開始
- 渋谷エリアが連携する
まちなかアートプラットフォーム
「渋谷ストリートギャラリー」
実施

- ホームページリニューアル
- Instagram開設



- 市民参加型の
「しぶやをつくるゼミ」
第1期開催

- 公共空間活用
文化振興PJによる広場PR
- シブヤ・アロープロジェクトと連携し、
ブラジリアンアートを掲出
- 「しぶやをつくるゼミ」第2期開催
- 渋谷を巡るウォーキングツアー
「SHIBU HACHI BOX TOUR」を実施
- 環境活動企画
「はらぺこベトベター
～ベトベターの満腹大作戦～in渋谷」
を実施

- 「しぶやをつくるゼミ」第3期開催
- 観光ツアーの情報発信、
ハチ公回遊・現場体験ツアーの実施
- ハチ公100周年に係る情報発信協力
- 公共空間を活用した
アーティスト公募プラットフォーム
「TYPELESS」始動、第1弾アート掲出開始
- 渋谷駅西口における
プロジェクションマッピングへの協力
- 渋谷駅周辺まちづくり
情報発信トークイベント実施

- 渋谷区と連携し、大山街道整備
プロモーションビデオ制作・放映
- 「秋の条例啓発キャンペーン」への参加
- 「TYPELESS」第2弾アート掲出開始
- 渋谷駅地下街室外機置場フェンス
デザインリニューアル